

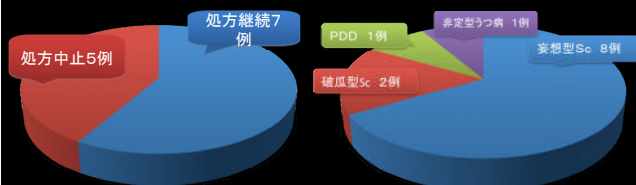
第119回北海道精神神経学会
平成23年7月3日 旭川

当院における新規抗精神病薬 パリペリドンの使用経験

○木川昌康, 中島公博, 千丈雅徳
(五稜会病院)

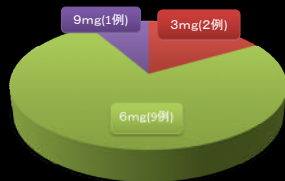
パリペリドン(PAL-ER)の使用実績

処方症例12例中

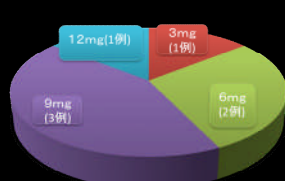


内服量の内訳

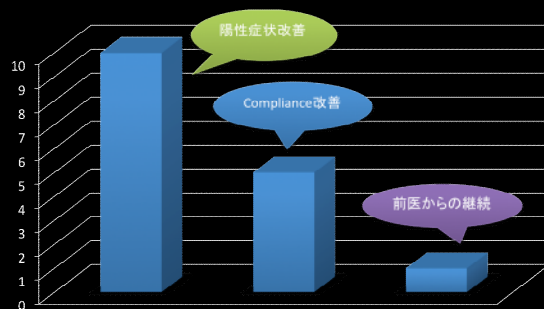
初期用量



維持用量



PAL-ER導入の目的



PAL-ER内服により認められた副作用

高PRL血症関連症状

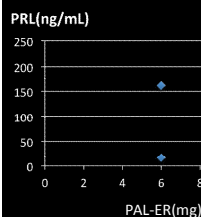
- 陰萎症状1例 (PAL-ER 9mg) → 6mgで改善
- 乳汁分泌1例 (PAL-ER 12mgとBLS 24mgとの併用) → 内服中止

EPS関連

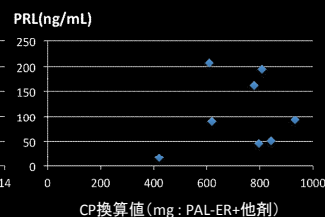
- 粗大振戦1例 (PAL-ER 12mg) → 9mgに減量

PAL-ERのPRLへの影響

PAL-ERとPRL



CP換算値とPRL



症例1-1

20歳代男性, 会社員
(診断名)妄想型統合失調症
(現病歴)

X-9年, 幻聴, 妄想を主訴にS市内S病院受診. 統合失調症と診断され, 数回の通院歴あり.

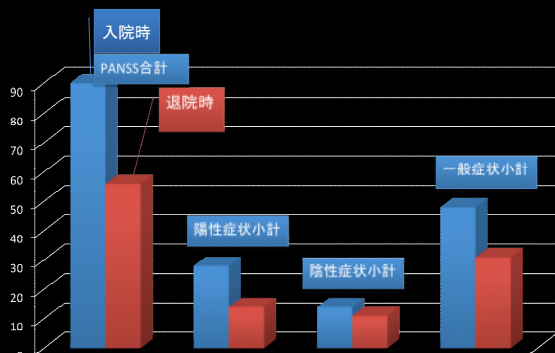
X-7年2月, 気分変動激しく, 不眠傾向となった. 次第に奇異行動が顕在化し, 注察妄想なども強く, 当院初診. 同日より3ヶ月間の入院歴がある. 当院退院後は外来フォローされていたが, 病状安定していたため, X-6年10月に終診となっていた. その後, 大学卒業, 現在の会社に就業. X-3年には婚姻した.

X年3月11日, 出張先のM県S市にて東日本大震災に被災. 建物の損壊はなかったが, いっこうにやまない余震など, 極度のストレスに曝露された.

症例1-2

- 強い不安・恐怖感を抱き, 出張先のM県を去り, 消息不明となった. 家族からの捜索願により警察により保護されたが, その間の記憶は不明.
- 自宅に戻ったものの, 『おまえが被災地を復興させるんだ』といった幻聴が聞こえるようになり, 自宅をたびたび飛び出そうとするようになった.
- X年Y月Z日, 家族に伴われて当院受診. 受診時, 落ち着きを欠き, 幻聴・妄想により行動抑制が効かない状態であった.
- Y月Z+2日, 当院再診し, 同日, 医療保護入院となった.
- 入院翌日(Z+3日)よりPAL-ER 3mg+RIS 2mg内服開始.
- Z+17日よりPAL-ER 9mg. 陰萎症状出現. 経過観察とした.
- Z+44日, PAL-ER 6mgに減量. 次第に陰萎症状改善.
- Z+89日, 退院. 以後, 当院外来Follow.

臨床的有効性(PANSSでの評価)



結果および考察

- PAL-ERにより特に陽性症状の改善が認められた.
- PAL-ERは6mg以下においては副作用発現頻度は低かった.
- PAL-ERに起因すると考えられる高PRL血症が認められた. 陰萎, 乳汁分泌も認められた. とくに6mg超の高用量あるいは他の抗精神病薬との併用による高CP換算値での症例では, PRL値も高く, 関連症状も認められた. 一方, 6mg以下ではPRL値は比較的低く, 関連症状も改善された. これは日本人統合失調症患者を対象としたPAL-ERの治験結果である平安らの報告(臨床精神薬理 13:2077-2103,2010), あるいはArakawaらの報告(Psychopharmacology 197:229-235,2008)と一致する.

まとめ

- PAL-ERの使用経験について報告した.
- PAL-ER内服により高PRL血症が散見されたが, 6mg/day以下にすることによって血清PRL濃度は改善され, 関連症状も改善された. 副作用を考慮すると維持用量としては6mg/day以下が望まれると考えられた.